



かわら なが はや ところ ところ
川原ができるのは、流れの速い所、おそい所のどちらなの

なが ところ
流れのおそい所 ができる

かわ まがって なが ところ ところ
 川が曲がって流れている所では、ふつう、まがり角の内側に、すな こいし つ
 かわら
 川原ができています。

かわ まがって かわら ところ ところ
 川の曲がり角の内側に川原ができるのは、まがり角の外側よりも内側のほうが、みず なが
 がおそいからです。かわら すな こいし じょうりゅう はこ
 川原は、砂や小石が上流から運ばれてきて、おきざりになった所
 です。おきざりになるのは、みず なが
 水の流れがおそくて、すな こいし さき はこ
 砂や小石をそれよりも先へ、運べないから
 です。

こいし かわら かわ すな かわら かわ なが はや
小石の川原のある川は、砂の川原のある川よりも流れが速い

こいし かわら すな なが
 小石の川原では、砂が流されて、ほとんどなくなっています。すな かわら
 くら かわら
 比べて、小石の川原ができている川のほうが、かわ みず すな はこ ちから
 川の水が砂を運ぶ力があるので、なが はや
 流れが速い
 のです。

かわ なが はや じょうりゅう かわら いわ いし あお ひろ
 一つの川でも、流れの速い上流では、川原は岩や石が多く、あまり広くありません。し
 なが かわら
 かし、流れのおそい下流では、砂の広い川原があります。（監修・国司 真）

川が曲がっている所

